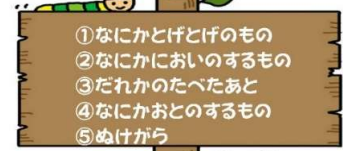


森の宝さがし

2026年度版

ねらい 内容	自然豊かな清里では都市部では見られない高山植物もあります。そんな環境で、自然に親しみ、ネイチャーゲームを通して、自然の面白さや不思議なところを発見する機会としましょう。 「宝ものリスト」にある木の実やぬけがらなど、森の中にある宝ものを見つけます。
対象	年中児～
期間	通年（時期により実施できない内容があります）
人数	50名
集合場所	本館前庭
活動時間	1時間～1時間30分（説明：開始前約10分）
活動場所	中庭・敷地内森の中
持ち物	長袖、長ズボン、帽子、宝物を入れる袋
貸出品	宝ものリスト（幼児用、小学生用）
施設職員	説明：あり 対応：なし 団体の指導者主体で実施してください。
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> 生きているものを採取しない。 触れるとかぶれてしまう植物（うるしなど）があるので、必ず軍手を付ける。

宝ものリスト



☆やけ草・いまているものをつまみはけません
＊みれ家でみせあつので、もってこられるものはひびつてきてくばさい

■指導者の支援活動

- 1 フィールドの設定・安全確認 2 緊急時の対応確認 3 疑問点への対応及び助言

■活動展開例

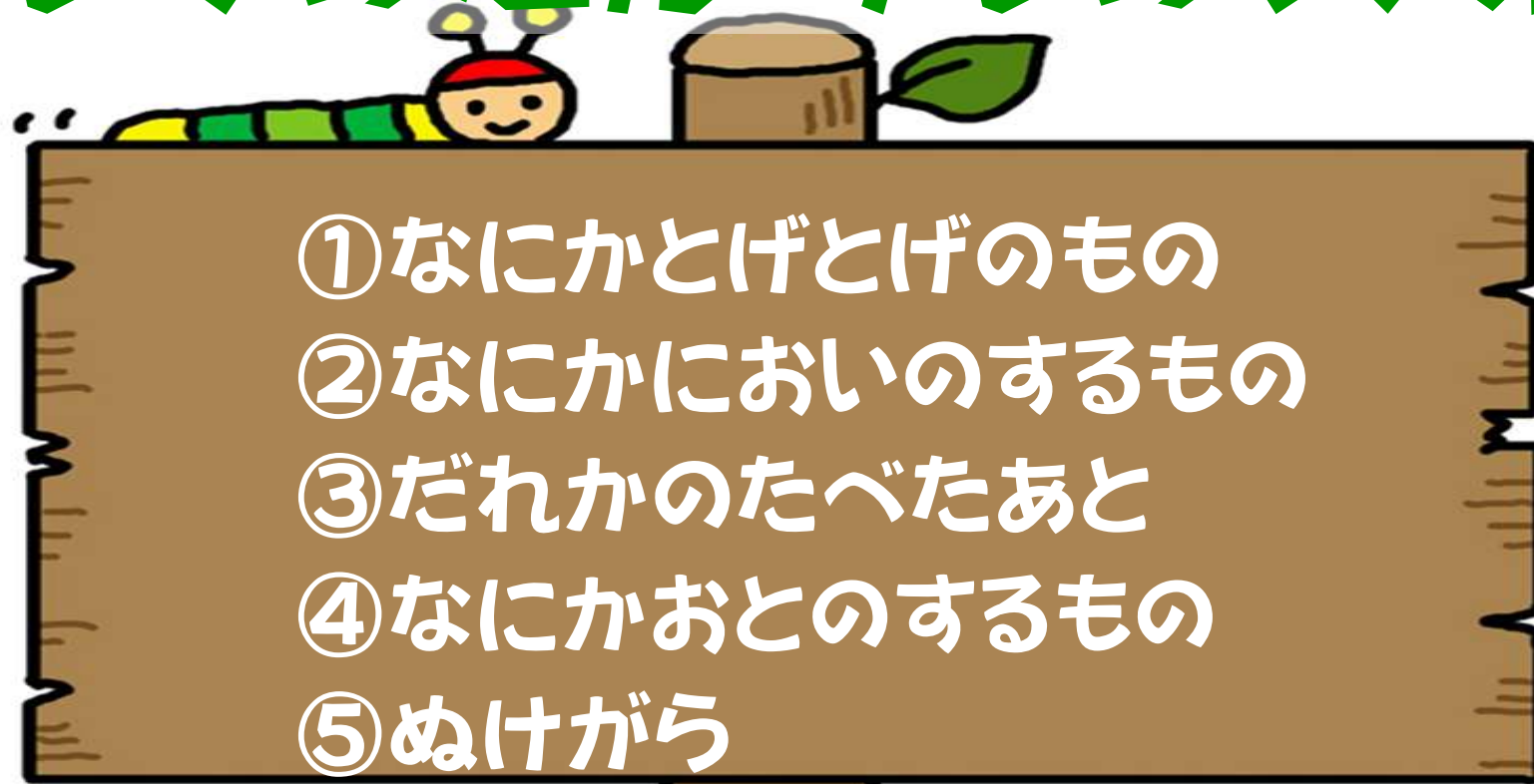
- 1 ネイチャーゲームの進め方・注意事項の確認
- 2 班や個人で「宝ものリスト」にある宝ものを探してくる。
- 3 ふりかえり（見つけた宝物の共有）
 - 探してきた宝物を使ってクラフト活動とつなげることもできます。
 - 例：「葉っぱスタンプのトートバック」



■活動のポイント

- ・五感を意識して活動しましょう。
「宝ものリスト」は、視覚、聴覚、触覚、嗅覚などを、さまざまな感覚を使って探せるように構成しています。視覚だけに頼らず、五感を使って自然を楽しむようにしましょう。
- ・「ふりかえり」（共有）を大切にしよう。
「ふりかえり」の時間は、見つけてきたものに優劣をつけず、ひとりひとりの発見を褒め、みんなで分かち合うことを意識しましょう。
取ってこられなかった宝ものについても話してもらおうと良いでしょう。
まとめの話では、「見つけてきた全てのものが、自然の中では大切なもの」であることを、わかりやすい言葉で伝えましょう。

もいのたからものリスト



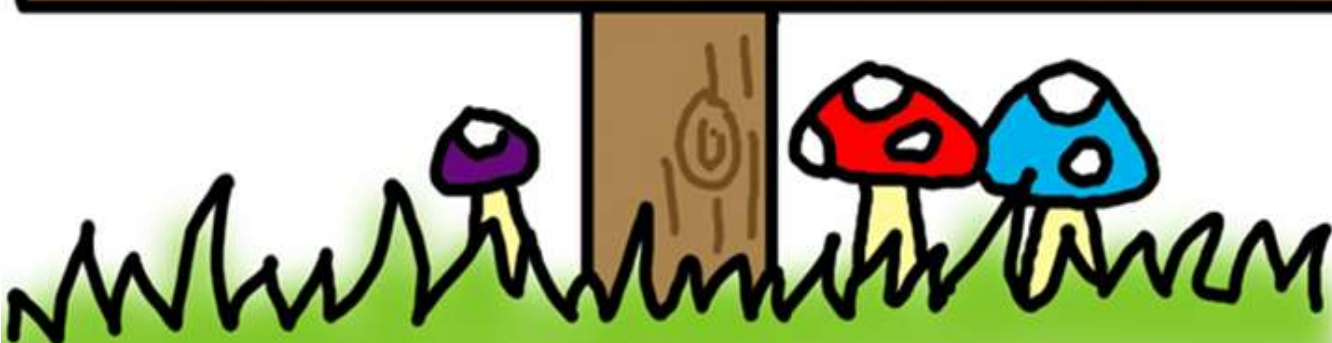
☆やくそく☆

- ・いきているものをとってはいけません
- ・みんなで見せあうので、もってこられるものはびろってきてください

森の宝物のリスト



- ① なにかトゲトゲのもの
- ② 大きな大きな落ち葉
- ③ なにかにおいのするもの
- ④ 木の実
- ⑤ だれかの食べたあと
- ⑥ なにか音のするもの
- ⑦ ぬけがら
- ⑧ なにかまっすぐなもの
- ⑨ なにかおもしろいもの



☆やくそく☆

- ・生きているものを取ってはいけません
- ・みんなで見せ合うので、持ってこられるものは捨ててください